

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

資金の範囲について

資金の範囲には、現金預金・未払金・預り金を含めることにしている。
 なお、期首及び当期末残高は下記3に記載するとおりである。

2 有価証券の評価基準及び評価方法

取得価額をもって貸借対照表価額としている。

3 基本財産の増減

単位：円

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金	1,400,000	50,000,000	0	51,400,000
有価証券	448,592,000	0	0	448,592,000
合計（基本財産）	449,992,000	50,000,000	0	499,992,000

4 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

単位：円

科目	期首残高	当期末残高
現金預金	104,177,143	51,627,367
次期繰越収支差額	104,177,143	51,627,367

5 有価証券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価額

(単位：円)

内 訳	帳簿価額	時価 (23.3.31現在)	評価損益
バロー株式 (240万株)	49,992,000	1,984,800,000	1,934,808,000
欧州投資銀行債(期限2024年3月15日)	100,000,000	84,160,000	-15,840,000
ノムラヨーロッパ債(期限2037年5月29日)	98,600,000	38,430,000	-60,170,000
ノムラヨーロッパ債(期限2037年5月29日)	100,000,000	83,650,000	-16,350,000
ユーロ円建コーラブル債(期限2023年3月31日)	100,000,000	99,860,000	-140,000
合 計	448,592,000	2,290,900,000	1,842,308,000

6 重要な後発事象

- (1) 有価証券のうち、ノムラヨーロッパ債（30年、帳簿価額98,600千円）が早期償還条件を満たしたことから、6月1日に償還となった。
- (2) 有価証券のうち、ユーロ円建コーラブル債（帳簿価額100百万円）が発行会社が償還請求権を行使したことにより、5月16日に31,960,000円、5月30日に68,040,000円償還となった。
- (3) 上記のとおり償還となった基本財産については以下のとおり運用（満期保有債券として）している。

(平成23年6月末現在)

(単位：円)

内 訳	帳簿価額
定期預金	50,500,000
バロー株式 (240万株)	1,984,800,000
欧州投資銀行債(期限2024年3月15日)	100,000,000
ノムラヨーロッパ債(期限2037年5月29日)	100,000,000
ユーロ円建リバースフローター債(期限2020年4月7日)	99,500,000
ユーロ円建リバースフローター債(期限2020年11月16日)	100,000,000
合 計	2,434,800,000